

ます の じゅう よう
孤高の画人 増野充洋 が描く究極の幻想美



雲海之龍図

- 技法：ジクレー版画
- 本紙：高級版画紙
- 額装：天然木青緑洪金箔古色仕上げ/アクリル, 吊り紐付き
- 画寸：縦 43.0×横 70.0 cm
- 額寸：縦 61.3×横 88.5×厚さ 2.0 cm 重さ 3.5kg
- 作家直筆サイン・限定番号入り
- 限定 50 部制作 お届けは受注から約 3 週間後

額付価格 117,000 円

曹洞宗天龍山地蔵寺本堂の襖絵大作や

高野山真言宗巴陵院の六曲一双屏風も制作...

数々の寺院や絵画コレクター達も作品を所蔵する

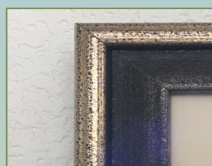
無為自然流求道者の画人・増野充洋が描き上げる幻想絵画の世界

碧の滲む空間に月の光が灯るノスタルジックな世界観と

深い雲海から天空へと飛翔する破邪と招福の龍神...

...Giclee 版画特有の美しい発色で再現した逸品二題

◎ 両作品とも世界 50 部のみの限定制作・販売となります
[作家自筆サイン,エディションナンバー(限定番号)入]



和室にも洋室にも栄える和風アン
ティークモダンな高級デザイン額

李白望郷図

- 技法：ジクレー版画
 - 本紙：高級版画紙
 - 額装：天然木青緑洪金箔古色仕上げ
アクリル, 吊り紐付き
 - 画寸：縦 56.5×横 24.5 cm
 - 額寸：縦 78.0×横 44.0×厚さ 2.0 cm
重さ：2.3kg
 - 直筆サイン・限定番号入り
 - 限定 50 部制作
お届けは受注から約 3 週間後
- 額付価格 75,000 円



～ 李白望郷図 作家解説 ～

「酒仙・詩仙と呼ばれた李白は月を愛でた詩と
たくさんつくっている。中でもこの『静夜の思
い』は格別に思える。

床前、月光を見る

疑うらくは是れ地上の霜かと

頭を挙げて山月を望み

頭を低れて故郷を思う

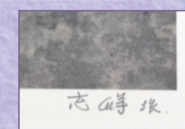
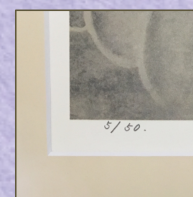
“枕辺に月かげあふれ きらめくは地

上の霜かと・・・” (松浦友久 訳)

この気分を松下に佇む李白に置き換えて表現
してみた。」増野

～ 雲海之龍図 作家解説 ～

「果てしなく、広く、深い雲海
の中から、忽然と現れた龍神は
上空を睨み、勢いをつけてまさ
に天空へと向う。愛らしく、や
さしい天下無類の龍を表現し
たいと思った。」増野



余白に画人直筆サイン入り

直筆限定番号(エディションナンバー)

◆純和風タイプの額装、シート(まくり)での販売も承ります。

ArtOffice Cloud8

ます の じゅう よう
孤高の画人 増野充洋

【略歴】



- 1948(昭和 23)年 東京都新宿区に生まれる
- 1979(昭和 54)年～ インド、ネパール遊学
チベット密教寺院にて仏画研究
- 1981(昭和 56)年 高野山真言宗巴陵院にて胎藏界・金剛界曼荼羅の法を学ぶ
- 1987(昭和 62)年 高野山真言宗巴陵院襖絵及び屏風絵制作のため、エベレスト・クーンブ
山群、タイ国・バンコク取材
- 1995(平成 7)年 台湾国立故宮博物院(水墨画)研究取材
- 2001(平成 13)年 新宿三越 美術ギャラリーにて個展
- 2011(平成 23)年 小田急百貨店本店アートサロンにて個展
- その他 ... ギャラリー新宿高野、銀座 TAMAYA 等、個展開催多数

■大作制作

襖絵 墨画「静寂図」曹洞宗天龍山地蔵寺本堂

六曲一双屏風 彩色「芭蕉図」高野山真言宗巴陵院

仏画 彩色「普賢菩薩・文殊菩薩図像」日蓮宗長重山本行寺釈迦堂 他

その他出品歴

現代日本絵画代表作家展「女人図」出展 ハバナ国立美術館

サロン・ドトーヌ 2012 「復活の胎動」パピリオン/パリ(フランス)

仏画・悉曇作品展「観想十牛図」出展 曼荼羅寺勸蔵院美術館

サロン・インターナショナル・デ・パリ「Hello! How are you?」推薦出展

エスパス・コミンヌ パリ(フランス)

□出版関連

『東京散策 108 図』増野充洋著 日之出出版

『仙人の生き方』 増野充洋著 里文出版

『十牛図入門』 横山紘一著 幻冬舎新書(十牛図制作)

○連載(新聞、情報誌) 文・画 / 東京新聞、月刊誌『ホームタウン』... 他

著作

東京散策 108 図 (日之出出版)

東京新聞に約2年間連載した「人まんだら」・「巨樹古木に会いにゆく」及び月刊「ホームタウン」連載の『十二景』等(絵と文)を3部構成で編集し、すべての項目に手書きの地図を掲載しました。また、その所在地を地名ごとに一覧できるようにしています。最近、評価が上昇はじめています。
(表紙絵 東京新聞連載分)



仙人の生き方 (里文出版)

51人の仙人物語です。昨今、人間の寿命120歳説が話題になっていますが、影相という仙人は「氣を養うことが適切ならば120歳にはなれる。・・・多少とも道がわかれば240歳にはなれる。それを倍すれば480歳。道理を極めれば不死となる。ただし、仙人にはなれない」と言っています。不思議な話です。どうぞ、ご一読ください。
(表紙絵 前田昌信氏所蔵)



増野 充洋 「李白望郷図」 50部限定制作
作家直筆サイン入オリジナルジクレー版画

